

Vol.116

農政局だより@ひょうご

2025.11
H-SATT

〒650-0024
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎
TEL:078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp



11月29日は
ノウフクの日!

農福連携（ノウフク）とは、農業と福祉が連携し、障害を持った人をはじめとする多様な人たちが、農業で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画することを実現する取組です。

ノウフクの日記念イベント2025

「11月29日はノウフクの日！～聞いて、知って、食べて農福連携～」

農福連携に取り組む若手農業者や、地域協議会及びユニバーサル農園の実践者等による講演とトークセッション、農福連携の現場で活躍する方による講演を会場で行うほか、オンラインでも配信します。

開催日時・場所

12月1日（月）13:00-17:00

ベルサール虎ノ門

東京都港区虎ノ門2-2-1住友不動産虎ノ門タワー 2F



▲詳細はこちらから

- ◆参加無料
- ◆事前申込制（当日参加可）
- ◆入退場自由
- ◆オンライン配信あり

共催：
一般社団法人日本農福連携協会
株式会社インサイト
農福連携等応援コンソーシアム
農福連携全国都道府県ネットワーク

もっともっとノウフク2025

11月29日の「ノウフクの日」を中心とした**11月1日（土曜日）から12月31日（水曜日）**までの期間を「**もっともっとノウフク2025**」として、全国各地で農福連携の更なる普及・啓発を目的としたイベントが行われます。是非この機会にお近くのイベントに足を運んでみてください！

イベント一覧は
こちらから▼



兵庫県内のイベント



+NUKUMORI
マルシェ

2025年**11月29日（土）** 兵庫県立明石公園
西芝生広場

11:00-15:00

主催：兵庫県 運営：兵庫セルブセンター

見える化に取り組む事業者の生の声をお届け！



温室効果ガス
削減



温室効果ガス削減
生物多様性保全

農産物の環境負荷低減の取組の

参加無料・事前予約制

「見える化」研修会

12/9（火）・12/10（水）
14:00-15:30 オンライン

申込フォームはこちら▶

申込締切：

各回の前日の正午まで！



どんなことが聞けるの？

- ・見える化に取り組むメリット
- ・販路拡大や売上向上に繋がるPR
- ・環境に配慮した商品の販売方法 など

環境負荷低減の取組の「見える化」とは

化学農薬・化学肥料や化石燃料の使用量、バイオ炭の施用量など、栽培情報を用いて温室効果ガス削減や生物多様性保全への貢献を評価し、その度合いに応じて星の数で分かりやすく表示します。

「キラリ」☆
現場にて

料理が楽しくなるよう毎日の食卓に彩りを届けたい！ ＜神戸市 おざき農園 尾崎七海さん＞



神戸市西区で都市近郊農業として少量多品目の野菜を栽培している、おざき農園の尾崎七海さんにお話を伺いました。

－就農したきっかけは？－

子供の頃から生き物や自然が好きで、大学では植物生理学、生化学を専攻。卒業後はバイオマス利活用など環境関連機器の製造・販売企業へ就職し、土壌分析技術を用いた研究、商品開発や営業に携わっていました。仕事で農家さんと関わり、儲かる農業を肌で感じ、「農業で起業したい！」と生まれ育った神戸に戻り、ひょうご楽農生活センターでの1年間の研修、(株)小池農園こめハウスでの2年間の研修の後、2年半の正社員雇用を経て2022年4月に独立就農し、おざき農園を設立しました。



－どのような取組みをされていますか－

大学時代から農業に興味があり、農業には“科学”が必要だと考えていました。このため、栽培方法は有機／慣行にこだわらず、科学的根拠に基づいた各作物に適切な方法で栽培することを信条としています。年間約40品目、60品種を栽培し、多様な販売先で売れ残りはほぼありません。また、農作物の販売だけでなく、機械技術や農業法人勤務経験を活かした農作業受託、講演（新規就農、女性就農等）や講義なども収入源としています。



－今後やりたいことは？－

農業従事者の高齢化・減少、耕作放棄地の増加など、農業には課題が多くあります。今後は、労働力・機械・販路等を共有する農業者グループをつくることや新規就農者の支援を行うことにより、地域農業の維持と農業従事者人口を増やしていきたいと考えています。



農地面積約60a（うちビニールハウス1棟）

消費地に近いので、みずみずしい野菜をお届けできます

解説！ 基本計画

野生鳥獣による農産物被害が問題になっていますが、基本計画での鳥獣被害対策の取組は。

シカ、イノシシ、サル等の野生鳥獣による農作物被害額は164億円（令和5年度）と、依然として高い水準にあります。鳥獣被害は、営農意欲の減衰をもたらす、耕作放棄や離農の要因となるなど、農村に深刻な影響を及ぼしています。

このため、基本計画では、ICT等を活用した遠隔監視や捕獲データの収集・分析等による見回り作業の省力化や捕獲を強化すべき地点の特定等、先導的なスマート鳥獣害対策の普及を推進します。

このほか、①捕獲による被害防止効果を向上させるための、有害捕獲におけるPDCAの実践、②鳥獣の侵入経路を踏まえた集落単位等での広域的な侵入防止柵の整備と維持管理の徹底、③地域での効果的な被害対策を企画できる専門人材の育成確保などの取組を推進します。

副地方参事官



クマにご注意ください！



**各地でクマによる人身被害が多発しています。
農作業に当たっては、クマとの不意の遭遇に十分ご注意下さい。**

兵庫県内におけるツキノワグマの目撃・痕跡件数（R7.8月末時点）

地域	但馬北部	但馬南部	西播磨	丹波	中播磨	北播磨	阪神	東播磨	神戸	全県
R7	160	34	62	23	19	19	9	0	0	326

（出展：兵庫県 環境部 自然鳥獣共生課）

農作業や鳥獣対策を行う際に注意すべき事項

- ・作業中にラジオなど音の出るものを携帯するなど、自分の存在をアピールすること。
- ・クマ類の出没情報に留意し、クマ類の行動が活発になる早朝、夕方の作業時には、周囲に気を付けること。
- ・頻繁にクマ類が出没する地域においては、できるだけ単独での作業は避けること。
- ・森林、斜面林などのそばの農地は、クマ類の出没ルートとなりやすいので特に注意し、安全確認を行いながら周囲の灌木の刈払いなどを行うこと。



農林水産省では、緩衝帯整備、電気柵などの侵入防止柵の設置、捕獲等の取組について鳥獣被害防止総合対策交付金で支援しています。詳しくはこちらから▼

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/yosan/attach/pdf/yosan-172.pdf>



環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

チームモリング「た・か・た」カフェ・モリングの里 代表 肥岡 紀子さん

ー地域とつながる、モリングによるまちづくりー

取組の紹介

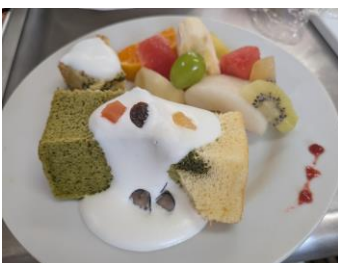
モリングの里は、交流広場たかた協議会メンバーとして、無農薬栽培のモリングや特別栽培米の高田米(ヒノヒカリ)の米粉等を使用した商品を活用し、カフェを営業しています。

モリングの葉には、ビタミンCが豊富であり、鉄分であればプルーンの約6倍、カルシウムは牛乳の約6倍など、基本栄養価の豊富な植物です。また、スキンケアとして、敏感な肌にもやさしい石鹸や保湿アイテムなどの自然の恵みをそのまま活かした商品づくりにも取り組んでいます。

モリングを育て、広めていく取組を通じ、地域の方々とのつながりを深め、農業の新たな可能性を広げることも大切な使命だと考えています。

地域に根差した活動を行いながら、子どもたちや次世代へと持続可能な未来をつなげていく、そんな志のもと、取組を重ねています。

また、米粉製品及びモリングの加工製品について、需要があれば、どんどん拡大していきたいです。



米粉とモリングを使用したメニュー

モリングとは

モリングは「奇跡の木」と呼ばれるスーパーフードで、ビタミン・ミネラル・アミノ酸など90種類以上の栄養素を含む植物です。

〈メニューと商品〉

シフォンケーキ、米粉めん、ロールケーキ
青汁ハーブ、化粧品のハーブオイル、
フェイスクリーム及びハーブ石鹸 など



メニューと肥岡 紀子さん



無農薬栽培のモリング



モリングの里
ホームページ

〈製品の年間使用量〉

モリング 50kg
(収穫量) (500kg)
米粉 100kg

～地域の話～

ひょうごの美味し風土拡大協議会

～兵庫県産農林水産物・加工食品の生産・流通・消費を拡大～



～ひょうごの美味し風土拡大協議会はどこなところ？～

安全・安心で個性・特長のある兵庫県産の農林水産物やそれらを主原料とした加工食品を兵庫県自らが認証する**ひょうご食品認証制度の推進**、地域の強みを活かした**ブランドの確立**による競争力の強化、**海外における新たな需要開拓**の3つの活動を一体的に推進しています。

～どんな活動をしているの？～

(1) 兵庫県認証食品を一般消費者の方々にPRするほか、展示会への出展や商談会を開催するなど認証食品の需要拡大を推進しています(認証部会)。

★兵庫県認証食品フェスティバルの開催

(例年10月開催：明石市)

★兵庫県認証食品商談会の開催(今年度は2月予定：昨年度は18事業者参加)

etc.

兵庫県認証食品商談会の様子▶



(2) アジア諸国、フランスを中心としたE U加盟国を主なターゲットとして、兵庫県産農林水産物・加工食品の輸出促進に取り組んでいます(輸出部会)。

★JETROと連携し、香港等の現地バイヤーを招いて、商談を実施(今年度は2月予定：昨年度は5事業者参加)

★フランスにおいて、現地バイヤー等に向けた営業代行を実施(今年度は10～11月、5事業者参加)

etc.

◀現地バイヤーとの商談の様子

(3) 民間企業と連携したフェアの開催や、新たな商品開発に向けた取組を行うことで、兵庫県産農林水産物・加工食品のブランド化を推進しています(ブランド部会)。

★外食チェーン店と連携し、グルメフェアを開催

★規格外品を活用した新商品を開発し、スーパー等で販売

etc.

(株) ワールドワンと連携しグルメフェアを開催▶



ひょうごのうまいもん情報局で、兵庫県認証食品を味わえるプレゼントキャンペーンを毎月実施！詳しくはこちらから



instagram



Facebook

★ひょうごの美味し風土拡大協議会★

事務局：兵庫県農林水産部流通戦略課ブランド戦略班

所在地：兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

電話：078-362-9213

HP：<https://hyogo-umashi.com>



HP

旬の食材やイベントの情報も発信中



地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL：078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp